

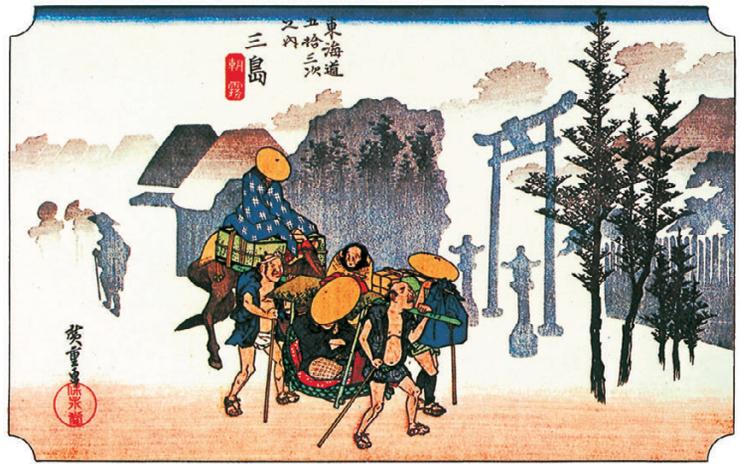


R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第2107号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市本町6-35 呉竹
TEL(055)975-3210
会長 西本 和夫 幹事 宇田川 茂



広重版画より 三島 朝霧

第2170回例会

2017.7.20晴

司会

遠藤眞道君

ロータリーソング

「日も風も星も」
指揮 赤池克斗君

会長挨拶

副会長 佐野宏三君

皆さんこんにちは、昨日静岡県の梅雨明け宣言が出ましたが、7月に入り連日の猛暑続きで、とうに梅雨明けして、なにも今更と感じる方が多々いると思います。

さて今年度も毎月第3例会が副会長の挨拶になりました。この慣例は、今から16年前、関本照文さんが会長の時から始まり、会長の負担軽減と次期会長に少しでも挨拶に慣れて貰うように、理事会で決定されたと聞きました。当クラブには会長の順番は入会順と暗黙のルールがあります。私が入会したのは平成9年11月です。入会当時の会長は、今は亡き仲田先生、幹事に松金さん、同期に8名入会しましたが、いま在籍しているのは、残念ながら西本会長と私の2人だけです。私の方が、7ヶ月入会が早かったのですが、順番を逆にして西本さんが会長職を快く引き受けてくれたことに感謝しております。また選考委員の方々に大変御迷惑をかけことをお詫びいたします。

西本年度は「Memory of the rotary」ロータリーの思い出をテーマにして、走り出しましたが、私が入会に至った時の思い出は、元会員の石渡税理士から、頼み事があるので、事務所にてほしいと連絡があり、伊丹会員増強委員長と三島信用金庫理事の小野さんの3人が来所しました。ドアを開けては入ってくるなり小野さんから「佐野君たのむぞ」と握手を求めてきました。一瞬何のことも理解できませんでしたが、登記の相談ではなく、ロータリーへ入会の勧誘をしにきたのです。3人の有無をいわせない雰囲気にかけて、その場で入会届けに署名してしまいました。後日、仲田会長が、今度の新入会候補者はどんな人物なのかと面談にやってきました。その

時は、ロータリーに入会するには、審査が随分厳しいと感じました。

思い出づくりは、クラブで何か特別のことをやるのではなく、例会出席、奉仕活動、ゴルフやお酒、旅行等、普段と同じようにロータリーを楽しむ気持ちがあれば、おのずからついてまわると思います。

最後に副会長として、あと11回、挨拶の練習があります。今後ともよろしくご指導をお願いします。

出席報告

	出席総数	出席率	メンバーアップ	修正出席率
前々回	32/40	80.00%	35/40	87.50%
今回	35/40	87.50%	会員総数	45名

欠席者 遠藤(正)君、窪田君、平出君、古屋君、矢岸君

幹事報告

幹事 宇田川茂君

- ①本日は、前年度決算報告、クラブ協議会、赤池克斗君の卓話
- ②来週は松村ガバナーの公式訪問、せせらぎ三島RCと合同開催
- ③見晴学園より「みはらしフェスティバルボランティア活動」の協力依頼がありました。
- ④酒田東RC創立50周年記念式典の案内がありました。

2017~2018年度
国際ロータリー会長
イアンH.S.ライズリー

ロータリー:変化をもたらす

おめでとう

会員誕生日	三田君、前田(邦)君
入会記念日	橋本君
奥様誕生日	鈴木(郁)君、古川君、 野田君
結婚記念日	藤江君

スマイルボックス

◆伊丹君、お暑うございます。暑気払いしませんか。土用の丑うなぎ祭りを24、25、26日実施してます。よろしかったらご来店ください。赤池様有難うございます。

卓 話

自己紹介

赤池克斗君

皆さま、こんにちは。本日の卓話は自己紹介をさせていただきます。私は1986年に富士宮市で生まれ、幼稚園ではサッカー、小学生になって空手と少年野球、中学生でバスケットボール、高校生ではバレーボールとなかなか一つのことが長続きしない性格でした。小学1年生から6年間続けた沖縄剛柔流空手は、県内の道場が少なかったため全国大会に何度も出場させていただき、初段を取得後やめました。同じ小学生時代に少年野球はキャプテンを務めたのですが、チームメイトの統率がとれず脱走を図ったりしましたが、監督に捕まり軽トラックで連行されたのもいい思い出となりました。中学、高校と運動部を続け、大学生になってはじめて運動部から離れました。大学時代にはバンド活動に明け暮れ、下北沢のライブハウスでよく朝まで過ごしたものでした。その時のバンドメンバーの妹さんと26歳で結婚しました。現在私は静寿会グループでお世話になりながら、前衆議院議員吉川たけるさんの政治活動もお手伝いさせていただいております。3年前までは永田町の衆議院議員会館に勤務し公設第一秘書を務めておりました。公設秘書というのは、1人の国会議員に3名まで認められた国家公務員特別職であります。衆参議長へ届出をすれば兼職も可能です。もともと公設秘書制度成立前は、秘書は机や椅子と同じ備品扱いで給与もなかったところを、かつての先輩方のご労苦のおかげで公設秘書制度ができたのだと木曜クラブ いわゆる田中派秘書会の事務局長から懇々と教わりました。公設秘書には、政策秘書、公設第一秘書、公設第二秘書がありますが、政策秘書制度の設立時には今まで無資格で仕事していたベテラン秘書たちから、そもそも政策立案能力があれば秘書なんかやっていない、と批判があったそうです。秘書にもさまざまな方がおりました。経営者や元自衛官、元官僚、元弁護士などいろいろな経験をされて仕事をしておりました。知人の元官僚秘書は、内閣官房で衛星をつかって北朝鮮の監視をしていたという人や、最近弁護士事務所からの斡旋で公設秘書になった人も

おりました。おそらく県内全域、国内全域でも私のように30代で永田町を経験し、田中派秘書会幹部の指南を受けたという方はいないと思います。そうした中で永田町では多くの人と出会い多くの経験をさせていただきました。鈴木宗男先生のところに北海道関係のお願いに行ったときの話です。現職代議士でない鈴木宗男先生ですが、現在は衆議院会館の裏手に隣接する十全ビルに事務所を構えており、その一室にお伺いしました。部屋にはいと会議用のテーブルがあり、宗男先生のテーブルの手元には電話がおかれていました。簡単な資料と説明をすると、すぐに宗男先生ご本人が手元の電話の電話番号を押し、関係のところへ電話をして、「たむよたむよ」と瞬時に対応していただきました。宗男先生は中川一郎先生の秘書をしていた時代から、電話を手元に置き、電話帳は頭の中、お願いごとを即時実行。就職先のお願いにきていた学生はその面談で入りたい就職先に決まっていたそうです。パフォーマンスかもしれませんが本で読んでできごとや、そういう議員を目の当たりにし、心から感動しました。宗男先生は現職ではありませんが、すべての議員がこのような対応してくれるわけではありません。某現職議員のところへ、私一人でお願いにいき後日の対応ということで快諾をいただいたかと思えば、そのすべてを御破算にする。ということも間々ありました。その他にもたくさんのエピソードがありますが、それはまた別の機会にお話させていただきます。私が学んだことは多くのリーダーがいて、多くのそれを支える人がいることです。また、永田町と霞が関の考え方は大きく違って、ある方の引用ですが、起業家マインドとサラリーマンマインドの違いのようなものがあるのだと思います。「今自分が持っている能力、スキル、商品をすぐに分かち合い、お金の換えようとするのが起業家マインド。能力、スキルを高めることや、商品をより素晴らしいものにしたら分かち合おうと考え、そうなればお金の換えられると思っているのがサラリーマンマインド。」創業者が2代目や3代目へ経営を継承していく難しさがサラリーマンマインドから起業家マインドへの転換がその一因であると言われますが、こういったマインドいわゆる心や精神の違いや転換というものが永田町と霞ヶ関でも多くの場合作用していることを学び、ひろく実態社会においても影響しているものだと感じました。ここにいらっしゃる諸先輩方には釈迦に説法かもしれませんが私はまだまだ浅学非才の身でありますから、永田町ではそういったものを感じ、多くの調整の必要性を学びました。

さて現在は、介護関係施設を県内外15施設、他に認定こども園や、介護給食事業、医療機器認証、新たにホテル事業を展開する静寿会グループの一員をつとめております。介護業界で最大の課題となっているのは人材不足です。人材不足は介護業界だけの問題ではありませんが、介護に関しては3Kに加え、低賃金労働という状況にあります。どの業界でもグローバル人材の活用について動きがあると思います。日本に遅れて高齢化するアジア諸国に向け、政府が介護の輸出を政策としてすすめています。規制緩和によって成長の可能性が広がっているということだと思います。さいごに三島西ロータリークラブのテーマ「ロータリーの思い出」についてお話をさせていただいたところではございますが、新会員なのでこれからロータリーの思い出に残るような活動に励んでいきたいと思えます。「思い出」と呼ばれる長期記憶を人間が覚えるためには脳に対する刺激が強ければ強いほど重要な情報として覚えているそうです。諸先輩方から多くの刺激と多くのご指導をいただいて、楽しいロータリーにしていきたいと思えます。今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。

(週報担当: 相山 豊)